



# 済生会

わかやま

# NEWS

第10号

発行日: 2007. 1

## ～「基本方針」～

- 1、救急対応と急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
- 2、患者様の立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
- 3、透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし相互信頼を確保する。

## — Information —

新年のごあいさつ

— 働くとは、はたをらくにすること —



新年おめでとうございます。和歌山城を眼前に見る現在地に移転して4年目を迎えますが、医療を取り巻く環境はますます厳しくなっています。昨年4月の診療報酬改定は、保険制度始まって以来の大幅減額改定（マイナス3.16%）で、当院にも痛手となっています。しかし、そんな苦況の中でも、親しまれ、信頼され、働きがいと誇りを持つ病院をめざして前進し続けておりますので、今年もよろしくお願い申し上げます。

医療は当然、病める生命を救うこと（済生）であります。そもそも済生会の名称は、日露戦争後に医療も受けられずに困っている国民を救わんと「施業救療以テ済生ノ道ヲ弘メムトス」との済生勅語に添えて、150万円の御手元金を下賜された明治天皇の御心に発します。その志のもとに恩賜財団・済生会が作られ、日本赤十字社などと共に、全国的な医療活動を続けてきたのです。したがって、われわれ済生会職員はどのような苦境におかれても、奉仕・救療活動を続けなければなりません。とはいえ、忙しく苦しくなると、ついつい不平不満がでてまいります。そこで今年は、「働くとは、はたをらくにすること」という言葉を広めたいと思います。

ある宗教紙面で、「働くとは、<sup>はた</sup>を<sup>らく</sup>にすること」という言葉を知りました。はじめは単なる語呂合わせに過ぎないと思いながら読んでいたのですが、その内容に深く感銘させられたので紹介します。この話しには、もっと深い意味が隠されていたのです。

あるところに、年老いた母親が、長い間、半身不随で寝たままでした。そして、優しい娘がいつもお母さんの身の回りの世話をしていたのです。ある日、母は娘に下の世話をしてもらった後、「いつもありがとう、本当にすまないね。こんな体になってしまって、もうなんの働きもできない。お前に迷惑をかけるばかりで、早く死んでしまいたい。」と言ったそうです。これを聞いた娘は「お母さんは立派に働いてくれていますよ。お母さんは、ありがとう、すまないねと言ってくれるじゃないですか。その言葉で私の心は癒され、私のしていることが報われます。お母さんは、その一言ではたを楽にしてくれているのです。」と言ったというのです。

この話しには、働くとは傍の人を楽にさせることであるという意味のほか、ありがとうの一言が立派な働きであり、人はどんな姿になっても働けるという意味が隠されているのです。たとえ年老いて、半身不随になっても、立派に働けるのです。まして半身不随でもない私達には・・・と言うのがこの話しの真意なのです。そうです、働けば感謝されます。人の役に立ち、人から感謝される。それこそ働く意義であり、働く喜びです。いや、生きる目的と言っても良いと思います。そして、働いてくださった人には、心から感謝する。そんな職場風土を作れたらと願っています。

そして、私のように歳をとってくれば、働けるだけでこの上ない喜びになってまいります。「働くとは傍を楽にすること、働ける喜び」、今年これを合言葉にしたいと思います。しかし、当院には若い職員も多く、この言葉の意味をまだ十分に理解していない人もいられるかもしれません。そこで、先輩のみなさん、そして優しい患者の皆さん、忙しさを笑顔を失っている職員を見つけたら、「ありがとう」、「ごくろうさま」などと声をかけてやっていただけると嬉しい限りです。

平成19年1月

院長 林 靖二

## 糖尿病代謝内科のご紹介

糖尿病代謝内科部長 江川 公浩

当科は平成17年1月に新設され、江川公浩と佐藤晋一の2名で診療を開始しましたが、徐々に担当患者も増加したため、平成18年7月からは江川公浩（糖尿病学会専門医・研修指導医）、荒古道子（糖尿病学会専門医・研修指導医）、梅田恭史（認定内科医）の3名に増員されました。

日々の診療の中で感じますのは必要な治療を受けていない糖尿病患者が非常に多いことです。糖尿病の恐ろしさを知らずに放置して、神経障害、網膜症、腎症などの糖尿病合併症が悪化してから受診されることがまれではありません。もう数年早く受診していただければ何とかなったのではないかと悔しい思いをすることしきりです。動脈硬化症に起因する冠不全、脳梗塞や末梢血管障害ではかなりの方で糖尿病を合併しており、循環器科、脳外科、心臓血管外科と連携協力しながら治療と再発防止にあたっておりますが、何より大事なのは糖尿病合併症や動脈硬化症を予防することです。

そのために当科では糖尿病専門医および糖尿病療養指導士（薬剤師・看護師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士）で構成される済生会和歌山病院糖尿病ケアチームが食事療法や運動療法、薬物療法などの糖尿病療養指導をきめ細かく行っています。今後も和歌山市・和歌山県における糖尿病診療の質の向上を目指して努力していきたくと考えております。



## 4階東病棟のご紹介

看護師長 児玉 百合子

こんにちは。4階東病棟です。

当病棟は外科25床と消化器内科10床の混合病棟となっています。

消化器内科では総胆管結石や胃がん、大腸がん、肝臓がんなどの疾患が多く、外科との連携を図っています。

外科では手術日は火曜日と木曜日の週2回となっており、主に消化器内科からの疾患以外にも虫垂炎、ヘルニア、気胸、乳がん、肺がんなどさまざまな疾患があり、月平均45例程の手術が行われています。また手術後の化学療法やターミナル期の方も少なくありません。私たちはこのような急性期からターミナル期までさまざまな患者様に対して、忙しい中でも的確に対応し、なおかつすこしでも患者様の気持ちによりそえるような看護を提供していけるようスタッフ一同日ごろから研鑽を重ねてがんばっています。



### 【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成18年8月…177件 9月…204件 10月…206件 11月…208件

のご利用頂きありがとうございました。

## 総務課のご紹介

総務課長 鍵本 純夫

総務課は、ご存知のように病院の庶務全般を担当する部署で院内・院外の皆様と非常にかかわりの多い職場です。

病院の窓口として電話対応をはじめ、外来患者様やお見舞いの方がスムーズに受付出来るための総合案内や患者様のご意見を収集し、患者様にとってよりよい環境作りを目指し日々努力しています。

また、300人弱の職員の労務管理や福利厚生の実施、人事給与、経理事務・経営管理、医局秘書、耳鼻科・皮膚科クラーク派遣、医事課、情報管理課、経理課への業務の応援など幅広い業務も行なっています。

平成18年9月病院機能評価認定病院となりましたが、今後、病院機能評価認定施設の更新に向け文書管理とタイムリーな院内の情報伝達が行なえるよう院内LAN・院内メールを利用して職員すべてが必要な情報を共有し安全な医療・質の高い医療に努めたいと考えています。

様々な業務を担っている総務課は総務課長を含め職員3名とパート職員5名で担当していますが、各自が自分の仕事に責任を持って対応するよう日々心がけています。



## 地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代

明けましておめでとうございます。地域医療連携室は地域診療所の先生方のご指導・ご鞭撻をいただき4年目をむかえる事ができました。今後ともより一層連携を深め、お役に立てる様スタッフ一同気持ちも新たに頑張ります。

尚、下記の内容で第27回和歌山東臨床研究会を開催いたします。参加ご希望の方はご連絡下さい。

### 第27回和歌山東臨床研究会

日時 平成19年1月13日(土) 15:30~

場所 ダイワロイネットホテル和歌山

一般演題 『冠動脈インターベンション(PCI)の連携パスを使用して』  
済生会和歌山病院 循環器科部長 山本 勝廣

特別講演 『医療法第5次改正と医療連携』

順天堂大学医学部 公衆衛生学教室 講師 田城 孝雄 先生

## 井関循環器科内科 井関 富美子先生

新年明けましておめでとうございます

私の診療所は和歌山市の最南にあります。直近に舟尾山が横たわり海南市との境を成しています。海に突き出たその山の一角に由緒ある浜の宮神社があり、昔の建築様式のまま保存されています。祭神に天照大神が奉られ周辺住民から親しまれ参拝されています。

この地に開業して24年になります。当時60歳代で来院された患者様は既に80歳を超えています。今や私の診療所の患者層は超高齢化を迎えています。最年長は107歳の女性です。長年に渡り風呂屋の番台で人々の裸を見守ってきた方です。昨年、彼女は和歌山市の最高齢者になりました。長生きの秘訣は？の愚問に「何にも無いわ」と痛烈です。

このように大勢の患者様が個々の健康寿命を全うできているのは、取りも直さず済生会和歌山病院に確立された病診連携のお陰と感謝しています。何よりも患者様第一に対応していただき、診断は的確です。このような環境のもとで、プライマリーケア医として日々安心して診療できる幸運を実感しています。

一方、今、私の医師生活を省みて、果たして患者様にしみじみとしたお大事にを言い続けてきたのだろうか。消え入らなばかりになり、2007年の年頭も反省と共に明けてゆきます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



# 済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成19年1月1日現在)

	内科・糖尿病代謝内科・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科		リハビリ テーション科	脳神経外科		耳鼻 咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科
	2診	3診	4診			9診	8診	13診	14診		7診					
月	午前 山原邦浩	梅田恭史	井関良夫	木村桂三	—	重里政信	—	松嶋交作	西山大介	担当医 仲 寛	乾 芳郎	上野ゆみ	松尾恒久 間生ゆり	井上喜久彦	山本有紀	
火	午前 文野真樹	江川公浩		山本勝廣	—	駒井宏好	高垣有作	船岡信彦	本田高幹	担当医 中川真里	—	上野ゆみ	松尾恒久 間生ゆり	井上喜久彦	—	
水	午前 山原邦浩	川口雅功	荒古道子	尾鼻正弘	野村尚三	重里政信	—	新患診	西田秀樹	乾 芳郎	—	森山智美	松尾恒久 間生ゆり	井上喜久彦	—	
木	午前 文野真樹	江川公浩	井関良夫	木村桂三	—	駒井宏好	—	松嶋交作	西山大介	担当医 仲 寛	林 靖二	上野ゆみ	松尾恒久 間生ゆり	井上喜久彦	岡本勝行	
金	午前 川口雅功	荒古道子	梅田恭史	山本勝廣	—	中村恭子	柴田正幸	船岡信彦	本田高幹	担当医 林 靖二	—	上野ゆみ	松尾恒久 間生ゆり	宮崎賢一	—	

※内科 井関 (一般)  
江川 (糖尿病・代謝)  
荒古 (糖尿病・代謝)  
梅田 (糖尿病・代謝)

川口 (肝/消化器)  
文野 (肝/消化器)  
山原 (肝/消化器)

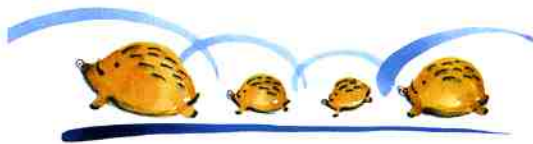
【受付時間】 午前 (全科) 8時45分～11時00分  
\*土曜日は休診となりましたのでご注意ください。

## 肝臓病教室

日 程 : 奇数月の第3土曜日 10:30~  
場 所 : 済生会和歌山病院 7階 多目的ホール  
開催日など : 都合により、変更する場合があります

## 糖尿病教室

日 程 : 毎月の第3水曜日  
場 所 : 済生会和歌山病院 7階 多目的ホール  
時 間 : 午後2時~午後3時30分 (要予約)



## 診療案内

診察日 : 月~金曜日  
受付時間 : 午前8時45分~午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)  
休診日 : 日・祝祭日 (年末年始)  
面会時間 : 月~金曜日 午後2時~午後7時 土・日・祝祭日 午前10時~午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187

## 研修会

### 第4回地域循環器疾患懇話会

- 日時 平成19年1月18日 (木) 18:30~
- 場所 ダイワロイネットホテル和歌山  
座長 三木内科 三木 茂裕 先生
- 演題Ⅰ「心房細動のガイドライン」  
済生会和歌山病院 循環器科  
副院長 山本 勝廣
- 演題Ⅱ「リズムコントロールと  
レートコントロール」  
済生会和歌山病院 循環器科  
医師 尾鼻 正弘
- 演題Ⅲ「血栓症の予知と予防  
~抗凝固薬と抗血小板の使い分け~」  
済生会和歌山病院 循環器科  
医長 木村 桂三

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい